

第2回廃棄物減量等推進審議会における指摘内容及び対応について

案件	前回の素案 対象ページ	今回の素案 対象ページ	指摘内容	対応
1	1	1	計画策定の趣旨にCO2の削減の必要性等、国際的な動向を入れてほしい。	P2・3に記載のある国内外の主な動向の内容のうち、P1に記載のないものについても、P1中に追記しました。
2	4	4	図1-1(本基本計画の関係法令及び関連計画)において、一般廃棄物処理実施計画と災害廃棄物処理計画の位置がおかしい。一般廃棄物処理基本計画の一部ではないので、わかるように区別してほしい。	一般廃棄物処理実施計画と災害廃棄物処理計画の位置を修正しました。
3	16	17	図3-1(本市のごみ処理フロー)において、※3の(ただし、搬入については当面の間とする)との内容がよく分からない。	()の表記を削除しました。
4	18	19	①広報・啓発活動に記載のある「資源物とごみの分け方と出し方リーフレット」リーフレットの多言語版について発行日が本文では平成30年度、表3-4では令和3年3月になっている。どちらが正しいか。	現在配布している多言語版は平成30年度に発行したものを令和3年3月に改訂したものであるため、表3-4の記載を令和3年3月改訂と修正しました。
5	18	19	③環境教育・学習に記載のある出前講座について、「市民や学校等からの申し込みを受け」とあり、受動的な印象である。	出前講座については、各学校に啓発している旨を本文に記載しました。
6	21	22	表3-9(報奨金制度概要)に記載のある報奨金額の内容がよく分からない。	文章を修正しました。
7	24・25	25・27	令和元・2年度の家庭系ごみ量増加要因と、平成30年度・令和元年度の事業系ごみ量の増加要因について記載がない。	家庭系ごみ量・事業系ごみ量ともに、増加要因についての推測を本文中に記載しました。
8	33	35	廃棄物部門とは何か。また廃棄物部門の温室効果ガス排出量約10万t-CO2は多いのか少ないのか。他市と比較した際の考察を踏まえて記載するべきである。	廃棄物部門の内訳を表記し、他市と比較した考察を本文に追記しました。 ※表や文章については、整合性をとるため、一部修正しています。
9	49	52	集団回収団体数について、P49では増加傾向にあると記載しているが、P21の表3-10(集団回収実績)をみると直近の令和2年度は前年度と比較し減っているようなので、矛盾している。	P52(前回の素案P49)の文章を修正しました。
10	49・50	52・53	資源物に関する指標において、目標値を持たないことについて、問題はないのか。国や府の見解を確認されたい。	資源物に関する指標を目標値としてたてることが義務化されているわけではないので、問題は生じないとのことでした。(大阪府に確認済)
11	52・53	55・56	p52 最終処分量の目標値が妥当なものか現在の内容からは判断できない。令和5年度からの摂津市との広域処理開始による影響の有無、現在実施している基幹改良工事による影響の有無はいかがか。また、近年最終処分量が現行計画の目標値を上回っていることに対する原因究明を踏まえ、今後の目標値を検討いただきたい。	摂津市との広域処理の開始及び基幹改良工事に伴う最終処分量(搬入量に占める最終処分量の比率)への影響はありません。また、近年最終処分量が増加している要因として、大阪湾フェニックスセンターによる集塵灰固化物冷却指導による散水の影響がありますが、この影響については、今後も影響するものであるため、考慮したうえで目標値を設定します。
12	52・53	55～57	最終処分量の目標値は、摂津市の搬入量を含めた環境衛生センターとしての搬入量における目標値をもつだけでなく、摂津市と茨木市搬入量から最終処分量を按分し、茨木市の搬入量における最終処分量を目標値とすること。また、摂津市の搬入量を含めた環境衛生センターとしての最終処分量は参考として掲出すること。	摂津市との広域処理を考慮した上で、摂津市を除く本市のみの目標値を設定し、摂津市の搬入量を含めた最終処分量については参考として記載しました。
13	64	69	”検討します”と”検討をすすめます”の言い回しに違いはあるのか、同じ意味であるのであれば統一されたい。	”検討します”に統一し、文章を修正しました。